

Information

第15回日本摂食障害学会 学術集会 鹿児島

【日時】9月3日(土)・4日(日)
【会場】城山観光ホテル【シンポジウム】「摂食障害の病態研究の進歩」【ワークショップ】1「コメディカルからみた摂食障害」／2「臨床各科からみた摂食障害」
【参加費】医師 10000 円、コメディカル・教育関係・他 5000 円、学生 2000 円【申し込み】タイトル「事前参加登録」と明記し、氏名、所属、職種を記載し下記へメール
【問い合わせ】〒891-0175 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号鹿児島大学大学院医歯学総合研究科心身内科学分野内【TEL】099-275-5751【FAX】099-275-5749【E-mail】jsed-kagoshima@live.jp【URL】http://www.jsed.org/

医療従事者のための 自殺予防対策セミナー

【日時】9月11日(日)【会場】品川キャナルビル7階(日本精神科看護技術協会研修会場)【講義】「『自殺』の心理の実態と生還者の悩み解決のしくみ」オキタリュウイチ(うつ・自殺防止サイト「生きテク」)【参加費】3000 円【対象】看護師、保健師、産業医、その他医療従事者【定員】80 名【申し込み】8月31日(水)下記ホームページより【問い合わせ】日本精神科看護技術協会事務局【TEL】03-5796-7033【URL】http://www.jpna.jp/

日本デイケア学会 第16回年次大会名古屋大会

【テーマ】デイケアからの飛躍それぞれのリカバリーを目指して
【日時】9月22日(木)～9月24日(土)【会場】名古屋国際会議場白鳥ホール(名古屋市熱田区)
【特別講演】Ⅰ)「リカバリー実践から日本へ提言できること(仮)」デービット・ピロン(ロサンゼルス郡精神保健局)／Ⅱ)「精神障害リハビリテーションとリカバリー」野中猛(日本福祉大学)
【教育講演】Ⅰ)「認知行動療法の実戦」石垣琢磨(東京大学)／Ⅱ)「それぞれの現場からみたデイケアの位置づけ」兼本浩祐(愛知医科大学)【シンポジウム】Ⅰ)「気分障害を対象としたリワークデイケア リワークプログラムの実践と効果」五十嵐良雄(メディカルケア虎ノ門)・舟橋利彦(ルーセントJ'sクリニック)・加藤和子(さくら・ら心療内科)・大木洋子(メディカルケア虎ノ門)／Ⅱ)「東日本大震災特別報告Ⅰ」原敬造(原クリニック)／Ⅲ)「東日本大震災特別報告Ⅱ」道又利(岩手県立大船渡病院)／Ⅳ)「震災シンポジウム「東日本大震災と被災者支援」新階敏恭・須藤康宏・宮城秀晃・林みづ穂／Ⅴ)【高齢者デイケア】「地域の暮らしを支える通所サービスの役割」井上崇(介護老人保健施設「伸寿苑」)／Ⅵ)「当事者シンポジウム「当事者の想いに耳を傾けよう」／Ⅶ)「家族シンポジウム「家族の想いに耳を傾けよう」【パネルディスカッション】「日本におけるリカバリーとは」厚生労働省担当課長(交渉中)・浅野弘毅(東北福祉大学 せんだんホスピタル)・兼本浩祐(愛知医科大学)

学)・佐々木裕光(福岡病院)・澤温(北斗会)【研修会】「認知症高齢者の地域生活支援とデイケアの役割」岩尾貢／「精神科デイケアにおける『主体性』について」(仮題)栗原毅[参加費]会員 2000 円、非会員 4000 円。研修会の申し込みは日本デイケア学会事務局まで(<http://www.daycare.gr.jp/>)【参加費】事前登録：会員 7500 円、一般 8500 円、当日：会員 8500 円、一般 9500 円、当事者・学生・家族 4000 円【問い合わせ】〒461-0004 愛知県名古屋市東区3-22-5(矢作葵ビル5F)名鉄観光サービス 名古屋東支店 担当：： 鉺田利也【TEL】052-979-7210(平日9:00～18:00)【FAX】052-933-7310【E-Mail】jpdct16@mwt.co.jp【URL】<http://www.jpdc16.com/>

第16回聖路加看護学会学術大会

【テーマ】“看護の可能性を拓く”—看護実践の高度化と役割拡大の中で
【日時】9月24日(土)【会場】聖路加看護大学【大会長講演】「グローバルヘルスニーズの変遷と日本の国際看護の発展」田代順子(聖路加看護大学)【特別講演】「グローバルヘルスへの貢献とグローバルネットワークの発展」(仮)パーバラ A. パーフィット(グラミン・カレドニアン看護大学)【参加費】事前登録(9月3日まで)：会員 5000 円、非会員 6000 円、当日：会員 6000 円、非会員 7000 円、大学院生 1000 円、学部生無料【問い合わせ】〒104-0045 東京都中央区築地3-8-5 聖路加看護大学2号館4階(長松康子)【E-Mail】

slnr16@slcn.ac.jp 【URL】 <http://slnr16.umin.jp/>

第24回 日本サイコオンコロジー学会総会

【日時】9月29日(木)・30日(金)
【会場】大宮ソニックスティ(さいたま市大宮区)【シンポジウム】「がん患者のうつ病：診断・症状評価、薬物療法」奥山徹(名古屋市立大学)・清水研(国立がんセンター中央病院)・和田信(埼玉県がんセンター)・金井貴夫(水戸共同病院)／「「対応困難な患者」の心理と精神病理の理解、それに基づく対応」山田了士(川崎医科大学)・西村勝治(東京女子医科大学)・竹内崇(東京医科歯科大学)・木村宏之(名古屋大学)他【教育講演】「がん生存者の心理社会的問題」内富庸介(岡山大学)／「小児がん：患者と家族の心理、その対応、長期的な影響」高宮静男(西神戸医療センター)【会長講演】堀川直史(埼玉医科大学総合医療センター)【問い合わせ】〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン 4F 学会支援機構内【TEL03-5981-6011】【FAX】03-5981-6012【E-mail】jpos24@asas.or.jp【URL】<http://www.asas.or.jp/jpos24th/>

病院歯科介護研究会 第14回総会・学術講演会

【テーマ】認知症の緩和ケア—終末期まで見据えた口腔領域での対応【日時】10月9日(日)【会場】岡山コンベンションセンター(岡山市)【大会長】小林芳友(積善病院歯科)【特別講演】①「緩和ケアの変遷」大坂巖(静岡県立静

岡がんセンター)／②「認知症の緩和ケア」平原佐斗司(梶原診療所)【申し込み】下記ホームページより【参加費】事前登録(9月20日まで):会員看護師4000円、非会員看護師5000円、懇親会5000円【問い合わせ先】積善病院 歯科【E-mail】woci2008@tulip.ocn.ne.jp【URL】<http://www.woci.jp>

第10回日本トラウマティック・ストレス学会

【テーマ】こころのケアのこれから—阪神淡路大震災から東日本大震災に向けて【日時】10月10日(月・祝)【会場】神戸国際会議場(神戸市中央区)【大会長講演】「東日本大震災における救済者・支援者の意義」重村淳(防衛医科大学校)【特別パネルディスカッション】「東日本大震災後のこころのケアを考える」矢部博興(福島県立医科大学)・黒澤美枝(岩手県精神保健福祉センター)・鈴木友理子(国立精神・神経医療研究センター)・中村通子(朝日新聞)【震災委員会提言】加藤寛(東日本大震災特別委員会)【参加費】会員8000円、学生会員4000円、非会員10000円【問い合わせ】【E-Mail】jstss10@ndmc.ac.jp【URL】<http://www.jstss.org/index.html>【プレングレス】10月9日(日)・三宮研修センター「惨事ストレスセミナー」加藤寛(兵庫県こころのケアセンター)・大澤智子(同センター)・重村淳、参加費:会員3000円、非会員4000円、参加資格:消防職員、医師、心理職、看護師、自衛官、警察官、保健師、行政職など救援・支援活動に関わ

りうる職種の方【プレングレスの問い合わせ】〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目3番2号 兵庫県こころのケアセンター【TEL】078-200-3010

日本精神病理・精神療学会 第34回大会

【テーマ】発達・成熟と精神病理学【日時】10月13日(木)・14日(金)【会場】名古屋大学東山キャンパス(名古屋市)【会長講演】「社会の脆さと精神病理学」鈴木國文(名古屋大学)【シンポジウム】1「発達・成熟との関連で見るpsychosis」(仮題)古茶大樹(慶應義塾大学)・野間俊一(京都大学医学部附属病院)・本田秀夫(横浜市総合リハビリテーションセンター)／2「発達と成熟—文化・社会と精神病理学」(仮題)加藤敏(自治医科大学)・斎藤環(佐々木病院)・津田均(名古屋大学学生相談総合センター)【特別講演】「現代社会はどこに向かうか」見田宗介(東京大学名誉教授)【ランチョンセミナー】1「社会の中での意思決定、その障害と治療について」村井俊哉(京都大学)／2「心因という虚構について」大東祥孝(京都大学名誉教授)【夜話会】10月12日18:00～アイリス愛知(名古屋市)【コース1】「一般臨床に森田療法の視点を生かす」中村敬(東京慈恵会医科大学附属第三病院)／【コース2】「治療関係に難渋した症例の力動的検討」小川豊昭(名古屋大学総合体育科学センター)／夜話会参加費:4000円(含食事代、税込)【夜話会参加申し込み】Eメール、大会HP上の専用申し込みフォーム、または往復はがきに1)氏名、

小誌では、できるかぎり多くの「生情報」を掲載したいと思っています。
イベントを企画されている方、広報を担当されている方は、
ぜひ小誌編集室までご一報ください。
FAX. 03-5804-0485 E-mail: seikan@igaku-shoin.co.jp

2) 勤務先と職種、3) 連絡先、4) 希望コース名を記入し送信 (10月5日 17:00 必着)【問い合わせ】事務局まで【E-mail】psychopathology2011@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp【URL】http://sites.google.com/site/jssp34in2011/home

平成 23 年度アルコール・薬物
依存関連学会合同学術総会

【日時】10月13日(木)～15日(土)【会場】愛知県産業労働センター(ウイंक愛知)【特別講演】1 Athina Markou, Ph.D. (Professor, Department of Psychiatry, University of California, San Diego) / 2 David Goldman, M.D. (Chief, National Institutes on Alcohol Abuse and Alcoholism, National Institutes of Health) / 3 Hyung-Chun Kim, Ph.D. (Professor, Neuropsychopharmacology and Toxicology Program, College of Pharmacy)【シンポジウム】「アルコール性肝障害における肝臓移植」中尾春壽(愛知医科大学)他 / 「Protracted withdrawal syndrome について」堀達(長谷川病院)他 / 「薬物依存からの回復を目指して—ダルクと医療の連携はどうあるべきか」芦沢健(旭山病院)他 / 「薬物依存：線条体ドーパミンによる意思決定の機序とその障害」銅谷賢治(沖縄科学技術研究基盤整備機構)他 / 「“物質依存”から“多様なアディクション”へ(Ⅱ)なにが違って、なにが同じなのか」松本俊彦(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)他 / 「アルコール関連問題対策基本法(仮称)の制

定 わが国の現況と制定の必要性及び制定手順等」烏帽子田彰(広島大学)他 / 「アルコール関連疾患の標準診療指針策定の必要性和医療連携 開発／策定と診療報酬算定の実現」竹井謙之(三重大学)他 / 「アルコール性認知症を考える(仮)」小宮山徳太郎(飯田病院)他【3学会理事長講演】鈴木勉(日本アルコール・薬物医学会)・齋藤利和(日本アルコール精神医学会)・柳田知司(ニコチン・薬物依存研究フォーラム)【参加費】事前登録(8月31日まで): 会員 8000 円、非会員 10000 円、学生 3000 円。当日登録: 会員 9000 円、非会員 12000 円、学生 4000 円。[懇親会費] 事前 7000 円、学生 1000 円、当日 8000 円、2000 円【申し込み】下記ホームページ内登録フォームより【問い合わせ】〒460-0008 名古屋市中区栄 3-32-20 朝日生命ビル コンベンションリンクージ内【TEL】052-262-5070【FAX】052-262-5084【E-mail】jmsas46@secretariat.ne.jp【URL】http://www.secretariat.ne.jp/jmsas46/

第 19 回日本精神科救急学会総会

【日時】10月21日(金)～22日(土)【会場】シーガイアコンベンションセンター(宮崎市)【シンポジウム】I「東日本大震災と精神科救急: 現地からの声 何が必要とされたのか」/ II「東日本大震災と精神科救急: 現地への声 何が可能だったのか」/ III(公開ディベート)「精神科救急において Shared Decision Making は可能かどうか?」/ IV「災害の現場から(仮)」【基調講演】西山正徳

(精神医学研究所)【招待講演】「認知行動療法」大野裕(慶応義塾大学)【第8回全国精神科スーパー救急医療研究会】シンポジウム「精神科救急入院料病棟の照準は何処にありや?」【参加費】医師 10000 円、その他 7000 円、学生 2000 円【問い合わせ】〒880-0013 宮崎県宮崎市松橋 1 丁目 1 番 32 号コーポはまゆう 7F 事務局【TEL】0985-60-2671【FAX】0985-60-2672【E-mail】myseikyo@aroura.ocn.ne.jp [運営事務局] 〒880-0841 宮崎県宮崎市吉村町大町甲 1931 番地高宮病院内【TEL】0985-24-5678【FAX】0985-22-1571【E-mail】miyazaki19@takamiya.or.jp【URL】http://www.takamiya.or.jp/jaep19/

日本ヒューマンケア科学学会
第 4 回学術集会

【テーマ】保健医療福祉の視点からみたスピリチュアルケアと今後の展望【日時】10月22日(土)【会場】日本赤十字秋田看護大学(秋田市)【会長講演】「今、あらためて問うスピリチュアルケアとは」【基調講演】「認知症高齢者におけるスピリチュアルケア」【シンポジウム】「保健医療福祉の視点からみたスピリチュアルケア(仮)」【参加費】事前登録 9月16日(金)まで) 会員 4000 円、非会員 5000 円、学生 1000 円、当日: 学会員 5000 円、非会員 6000 円、学生 1000 円「問 い 合 わ せ」〒010-1492 秋田県秋田市上北手猿田字苗代沢 17-3 日本赤十字秋田看護大学看護学部内【TEL】018-829-4000(代)【FAX】018-829-3030【E-mail】jahcs@

rcakita.ac.jp【URL】<http://www.rcakita.ac.jp/jahcs4th/index.html>

第21回日本臨床精神神経薬理学会／第41回日本神経精神薬理学会合同年会

【テーマ】向精神薬を科学する薬物療法をより良いものとするために【日時】10月27日(木)～29日(土)【会場】京王プラザホテル(東京都新宿区)【シンポジウム】統合失調症治療における薬物療法の最適化 その現在と未来／薬物誘発性精神病と統合失調症 その類似点と相違点を探る／双極性障害の維持療法とラピッドサイクラーの治療／うつ病の最先端脳科学的研究とその臨床応用／認知症の病態理解から診断・治療へ／向精神薬の使用状況の現状と課題 臨床現場の処方はいかにあるべきか、他【特別企画】「両学会の今後を考える 統合をめぐる」【参加費】会員 10000 円、非会員 18000 円、学生会員 3000 円、学生非会員 4000 円。懇親会費 10000 円【問い合わせ】〒102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町KSビル コンベンションリンクージ内 合同年会事務局【TEL】03-3263-8688【FAX】03-3263-8693【E-mail】cnp-np2011@c-linkage.co.jp【URL】<http://www.c-linkage.co.jp/cnp-np2011/index.html>

日本精神科看護技術協会研修会名

[多職種チームシリーズ]
「認知症」東京研修会場・10月29日(土)～30日(日)／京都研修センター・10月22日(土)

～23日(日)【受講料】18000 円(会員 12000 円)

「ディケア」東京研修会場・11月1日(火)～3日(木)／京都研修センター・平成24年1月13日(金)～15日(日)【受講料】27000 円(会員 18000 円)

「認知行動療法の基本と演習」東京研修会場・11月17日(木)～18日(金)／京都研修センター・10月27日(木)～28日(金)【受講料】18000 円(会員 12000 円) [委員会シリーズ]

「行動制限最小化」東京研修会場・11月5日(土)／京都研修センター・平成24年1月11日(水)

【受講料】9000 円(会員 6000 円)
コンコーダンス・スキル集中研修会「思考の整理編」東京研修会場・11月21日(月)～23日(水)【受講料】27000 円(会員 18000 円)

「問題解決編」東京研修会場・12月20日(火)～22日(木)【受講料】27000 円(会員 18000 円)

【問い合わせ】日本精神科看護技術協会事務局【TEL】03-5796-7033【URL】<http://www.jpna.jp/>

**お薬クロスワードパズル
73 ページのこたえ**

エ	ビ	リ	フ	ア	イ	ト
コ	ー	セ	ロ	ク	エ	ル
ン	ル	ン	バ	ビ	ル	マ
ス	ー	パ	ー	マ	ツ	リ
タ	ラ	イ	ツ	ン	ナ	ン
イ	ン	ヴ	エ	ガ	ミ	ド
ル	ボ	ル	ト	ガ	ル	ウ